

## ハーブを楽しむ 品川区立中延保育園（東京都品川区）

**ハーブを楽しむことで、<香る>**（長時間保育の中で、アロマを香らせた時間と空間を設定しその中で心身を癒す。）**<調べる>**（不思議と感じた事を知ろうとする意欲を大切にする。）**<作る>**（育て、収穫したものに手を加える事で、変化する事を経験する中で、好奇心、探究心、創造性を育む。）**<育てる>**（・成長する過程を楽しむ。・育てる為の根気強さ・生き物を大切にすることの優しさ。・収穫する喜び）**<食する>**（育て、収穫したものが身近な食品に変化する事を喜び、様々な味や調理法を経験する。）**経験をし、「科学する心」が育まれると考えた。**  
（実践事例集 vol.4 の16~17ページの事例参照）

### 事例<香る>

- ・ 昼寝の時「今日はラベンダーだけじゃないね〜」「いいにおいね...」「いいね〜」と話題になる。
- ・ ペパーミントのオイルを溶かしたエタノールを入れた水で足を洗う時に「スースするね匂うね」「気持ちいいよ!」とやりとりをする。



匂い・香り・味という見えないものなので、やり取りをして確かめる姿が引き出される。

### 事例<調べる>（紙粘土製作）

- ・ 生のハーブと乾いたハーブでは匂いや混ぜ方混ぜり方が違うことを感じ、友達とやりとりをしながらやってみる。
- ・ ハーブを粘土に混ぜて作り、紙粘土が茶色になった時、友達の作品を見たり生のハーブと乾燥したハーブでどうして色が付くのかやってみたり、ハーブの本を見たりして、友達と確かめる。



### 事例<作る>（石鹸作り）

- ・ 何のハーブで石鹸を作るか友達と相談する。
- ・ 石鹸作りには力があるので、友達と協力して作る。
- ・ 匂いや触った感覚など、感じたことや思ったことを言い合って作る。

同じ目的で活動する友達がいるので、感じたことや思い・考えを話し合える。

### 事例<育てる>

- ・ 耕す時に、土の固さや見つけたものなど気付いたことを友達とやりとりする。
- ・ 苗を植える時や水をあげる時、友達とやり方を確認したり生長を期待したりするやりとりをする。



### 事例<食する>

- ・ ペパーミントの葉の匂いやハーブティーにした香りを嗅ぎ、感じたことをやりとりする。
- ・ ハーブティーを味わい、思ったことをやりとりする。

**作品ができる喜び、作り上げて使う喜び、育てて生長を喜んだり遊びに活かしたりする喜びを、友達と共感できる。**  
**また、思うようにならない葛藤や課題を乗り越える思いを、友達と共有できる。**

### みどころ

きれいな花や実は誰にでも魅力的ですが、子どもたちは葉をとって匂いを嗅いだりちぎったりもんだりして遊びに使い楽しむ姿がよく見られます。そのためこの園の子どもたちにとって、自分たちで育てているハーブは、生活や遊びに日常的に取り入れて活動する大切な教材です。さらに「自分たちの園だからできる」という思いがあるので、ハーブを使って行う活動は共通の話題になり、発見も疑問も、課題も喜びも共有されています。また、匂いといった見えない感覚を言葉で伝え合うことが、快感・喜び、葛藤など様々な場面でも思いや考えを伝え合うことにつながり、「共感」に結びついています。